

西之島火山 2013年11月噴火地点：1973-74年噴火口との比較

西之島火山は1973-74年に唯一の噴火記録をもち、2013年噴火は約40年ぶりとなる。1973-74年噴火では、海底噴火の火口が北東から南西への移動(図の①-⑥)したのちに、新島が形成され陸上噴火へと移行した(第1～第5火口)(図)。気象庁発表による2013年11月20日噴火地点(概位)は、1973-74年噴火時の火口列の中央付近とほぼ一致する。このことは、今回の噴火は、1973-74年噴火の火道を再利用している可能性を示唆する。

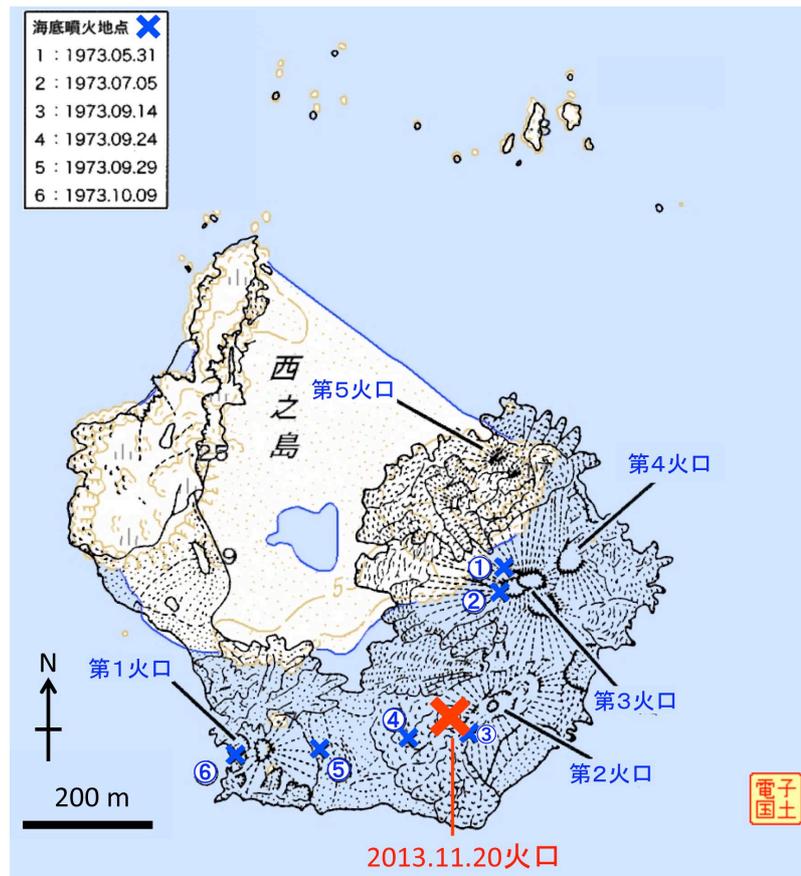


図 西之島 1973-74年噴火の火口分布図と西之島の地形図

海野・中野(2007)の火口分布図に、西之島の地形図(国土地理院 電子国土)を重ね合わせた。火口分布図は、噴火終了後の地形図(1974年7月7日:青木・小坂, 1974)に海底噴火地点(小坂, 1974)を加えたもの。重ね合わせは岩礁位置及び海岸線を基にしているため、多少のずれがありうる。青×と青丸数字は海底噴火地点とその年月(小坂, 1974)。青字の第1～第5火口は陸上部での火口(青木・小坂, 1974)。赤×で示した2013年11月20日噴火地点(概位)は、気象庁、西之島の火山活動解説資料、平成25年11月22日14時00分発表)による。

青木 斌・小坂文予(1974) 海底火山の謎-西之島踏査記。東海大学出版会, 250p.

小坂文予(1974) 西之島火山の活動とその観測。地質ニュース, no. 227, p.18-25.

海野 進・中野 俊(2007) 父島列島地域の地質。地域地質研究報告(5万分の1地質図幅)。産総研地質調査総合センター, 71p.